

「ヒト胚の取扱いに関する基本的考え方」見直し等に係る  
タスク・フォースの今後の検討の進め方（案）

**11 月 19 日 第 13 回 タスク・フォース**

ヒアリング

- ・阿久津 英憲 国立成育医療研究センター研究所 生殖医療研究部長  
「ヒト胚にゲノム編集技術を用いる研究について」
- ・石原 理 埼玉医科大学医学部産科・婦人科学教授  
「英国の認可局制度について」
- ・後藤 雄一 国立精神・神経医療研究センター メディカル・ゲノムセンター長  
「核置換について」

検討項目

- 1) 余剰胚へのゲノム編集技術を用いた遺伝性・先天性疾患の病態解明を目的とした研究の必要性について
- 2) 新規胚へのゲノム編集技術を用いた生殖補助医療、遺伝性・先天性疾患の病態解明を目的とした研究の必要性について
  - ・新規胚にゲノム編集を行う場合
  - ・配偶子にゲノム編集を行い受精させる場合
- 3) 核置換による病態解明を目的とした研究の必要性について
- 4) 余剰胚、新規胚、核置換技術を用いた治療法開発を目的とした研究の必要性について

**12 月 第 14 回 タスク・フォース（予定）**

ヒアリング（案）

「ヒト胚にゲノム編集技術を用いる研究について」の発表者を調整中（1～2名）

検討項目

- ・11 月 19 日の TF にて実施を認めるべきとされた場合 1)～4)を実施する際の要件は何か。
- ・実施を認めるべき段階にはないとされた場合はその理由
- ・審査制度について

**第 15 回 タスク・フォース（未定）**

TF 報告書案について検討